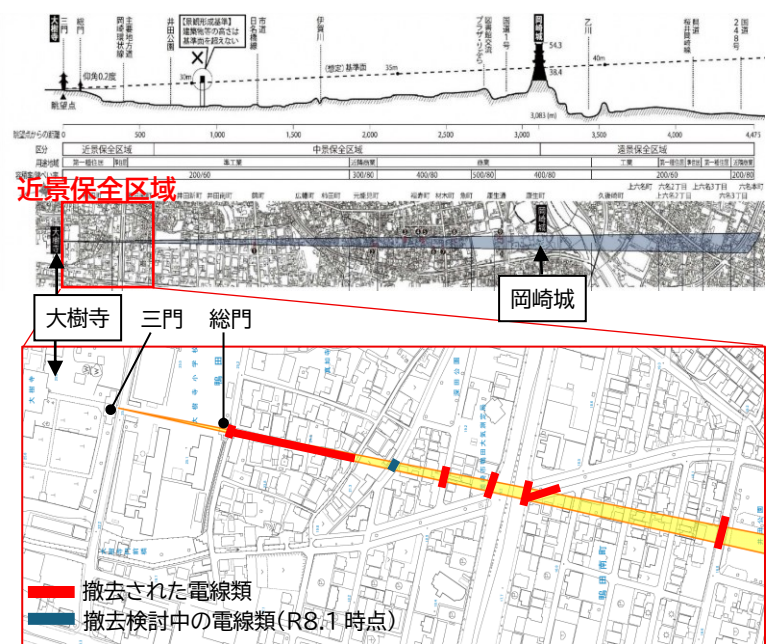


岡崎城と家康祖先の菩提寺を結ぶビスタライン

(愛知県岡崎市)

徳川家光が、祖父・家康が眠る大樹寺(だいじゅじ)から、「祖父生誕の地(岡崎城)を望めるように」との想いで、伽藍(三門、総門)を配置、造営した。その結果、大樹寺から岡崎城までの約3kmの直線からなるビスタラインが生まれた。

この眺望を保全するために、岡崎市景観計画(平成30年)にて、「大樹寺から岡崎城天守への眺望景観保全地域(特別地域)」が指定された。しかし、指定時点ですでに電柱や電線が眺望を阻害していたことから、岡崎市は歴史まちづくり計画の認定に伴う補助を活用し、近景保全区域において眺望を阻害する電柱や電線の移設や撤去を行った。その結果、岡崎城に直接かかる電線が撤去され、視点場からの眺望景観の向上が早期に実現した。



大樹寺から岡崎城天守への眺望景観保全地域(特別地域)の区域と電線類の撤去状況



岡崎城に電線が直接かかっていた状態



撤去が完了した後の視点場からの眺望

【事業に関する情報】

- ・「大樹寺から岡崎城天守を望む眺望景観保全地域(特別地域)」内の近景保全区域にて、電柱や電線の移設又は撤去を実施。
- ・岡崎市景観計画等に定める景観形成重点地区や眺望景観保全地域等において、景観形成基準等に適合していない景観阻害要素の早期改修を目的に補助支援を実施。

【事業関連データ】(計画認定:平成28年)

事業名 景観阻害要素除去事業
事業実施重点区域名 岡崎城下及び東海道地区
事業主体 岡崎市
事業期間 平成30年度～令和5年度
活用した補助金
 国土交通省
 ・景観改善推進事業

事業の実施に伴う土地・建物の取得

・なし

文化財等の指定状況

- ・大樹寺本堂:市指定文化財(建造物)
- ・大樹寺伽藍(三門、総門、裏二門、鐘楼、大方丈):県指定文化財(建造物)
- ・岡崎城跡:市史跡

【有識者からのコメント】

ビスタラインという名称から新しい取り組みのようにも聞こえるが、家康生誕の地である岡崎に根づく建築ルールである。昭和54年にはビル群による岡崎城の眺望阻害が新聞に取り上げられ、昭和57年には岡崎市観光文化百選に選ばれている。戦後の都市開発の中で生じた全国各地の景観論争では、保全側が涙を飲むことも多かった。その中で、精神性を伴う眺望を民官が協力して継承してきた。近年では住宅地である大樹寺周辺と中心市街地となる岡崎城周辺で、ビスタラインの尊重の程度に差が生じているとも聞かすが、本事業のような行政の積極的関与が、人々の理解と関心の向上につながることを期待したい。(下間)